

2026 年度 (令和 8 年度) 学校評価自己評価表

済美	中学校区	校番	福山市立 赤坂小 学校
最終更新日		2026年(令和8年)4月1日	

I 福山市

めざす姿 すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 資質・能力	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)
各校の課題を踏まえ、中学校区共通のミッション・ビジョンに基づく取組が推進されている。「主体的・対話的で深く確かな学び」の実現に向け、学ぶ力や成長する力を育む授業づくりが継続され、達成感や充実感を味わえる実践が進められている点は評価できる。また、不登校児童生徒への支援や他者との関わりを重視した取組も行われている。今後は、情報発信の充実を図り、保護者・地域と連携した教育活動を一層推進することが求められる。	○自己有用感、自己肯定感が低い児童・生徒において、学ぶ意欲の向上に課題がある。 ○家庭学習が習慣化していない児童生徒が多く。また、基礎が定着していない児童生徒が多い。 ○相手意識を持った行動が不十分な児童・生徒が多く、人間関係のトラブルも多い。 ○長欠・不登校の児童・生徒数が増加傾向にあり、支援が必要である。	○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心	①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係を築き、共によりよく生きようとしている。 ○「選択・決定」「対話の充実」「振り返り」をキーワードに授業づくりを進める。 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会・生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成
		中学校区として統一した取組等	

III 自校

学校教育目標		育成する力 資質・能力			
ともに 伸びる		○課題発見・解決力 (問いを持つ 振り返る 見通す)		○コミュニケーション力 (聴く 伝える まとめ)	
現状		○他者とかかわり合う力・心 (思いやり 社会性 貢献)			
<p>〈児童生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全国学力学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> ・正答率：国語～全国平均より2.2ポイント△ 算数～全国平均より3ポイント△ ・正答率40%未満の児童：国語～7.3% (全国平均より4.8ポイント△) 算数～24.3% (全国平均より2ポイント△) ◇標準学力テスト <ul style="list-style-type: none"> ・正答率40%未満の児童 国語：5年 0% 4年 19.5% 算数：5年 13.3% 4年 17.1% ◇「次の学習へ、分かった点やよく分からなかった点をつなげることができる」児童で、1の評価は、30%である。しかし肯定的に捉えている児童は82%であり、前回より2%増えている。 ◇授業の中や日常生活の場面で、自分の思いを伝えることができにくい児童が多い。 		めざす子ども像	小学校	中学校	
<p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「人はどのように学ぶのか、何につまずくのかについて関心を持ち教材研究をしている」教職員～38.5% (7月) ⇒64.3% (2月) ◇「教科の面白さを実感している」教職員～84.6% (7月) ⇒57.1% (2月) ◇「地域の人や課題などに児童生徒が触れる機会を持っている」教職員～30.8% (7月) ⇒28.6% (2月) ◇「仕事にやりがいを感じている」教職員76.9% (7月) ⇒64.3% (2月) <p>※すべて福山教育アンケート1、2の評価の数値</p> <p>自己存在感を感じることができる安心、安全な学級集団の中で、児童が自分の思いや考えを自由闊達に伝え合えることができるようにするとともに、児童のつまずき(ターゲット児童を中心に据えた)を基にした教材研究を進めていく必要がある。また、地域資源を活用した意図的な授業作りを推進し、学力の向上につなげていく。</p>		小学校	中学校	研究	テーマ
		ともに学び続けるこどもの育成 ～自らの考えを生き生きと表現できる授業を通して～			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ペア、グループ活動等の対話や表現活動を効果的に取り入れた授業づくり ・ふりかえりの項目を意識させながら、ともに学び、次への学びにつながるようなふりかえり 			
		めざす授業の姿			
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が自分の思いや考えを、書いたり、描いたり、話したり、対話したりしながら、表現している。 ・地域の人やもの等と関わることを通して、各教科領域で身に付けた力を活用しながら、学力向上を図っている。 			